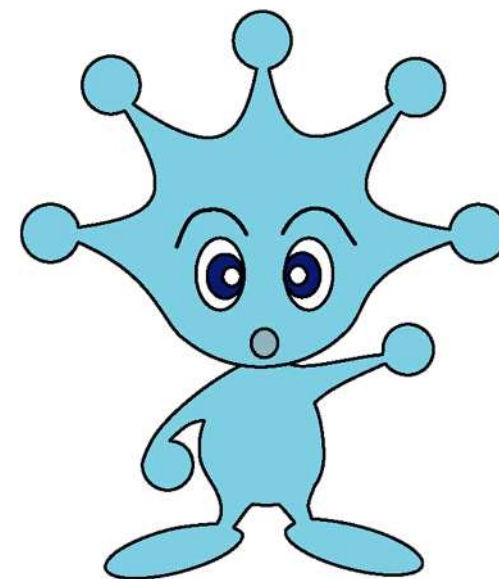


I 令和 6 年度決算 主要事業

Yokosuka City Waterworks and Sewerage Bureau



1 配水施設整備

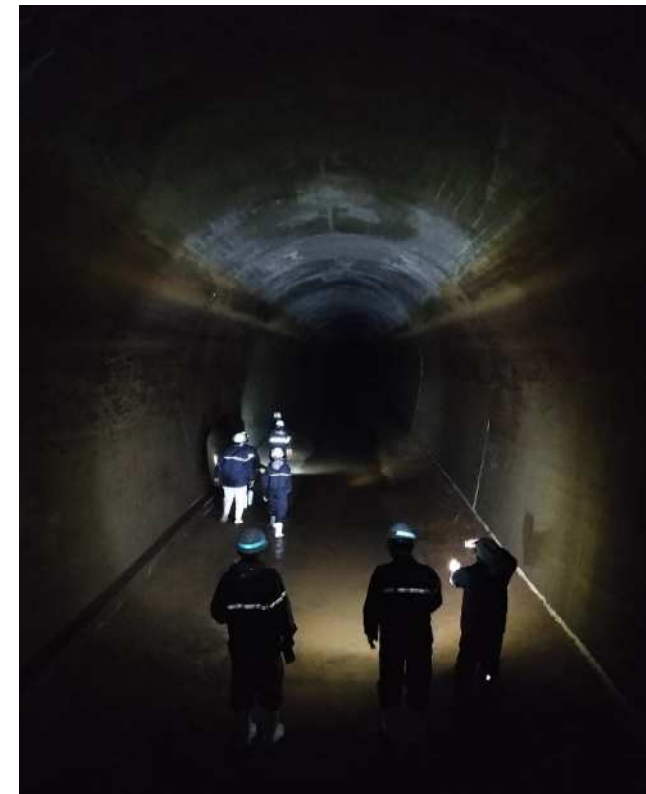
74,831,500円

水道施設課

経年化した配水施設の工事を行いました。

山中・池上ずい道配水池の補強

- ・補強工事に伴う健全度調査業務委託
- ・山中ずい道配水池カルバート内越流管更新工事
- ・山中管理立坑仕切弁改良工事 ほか



山中・池上ずい道配水池

2 ポンプ場改築

1,669,407,850円

施設更新担当

経年化したポンプ場設備の改築工事ほかを行いました。

10ポンプ場（追浜・汐入・日の出・馬堀・根岸・舟倉第2・久里浜第1
久里浜第2・上町・津久井）

- ・ 上町ポンプ場分流ポンプ棟受変電設備更新工事
- ・ 追浜ポンプ場雨水ポンプ設備更新工事
- ・ 久里浜第2ポンプ場沈砂池機械設備改修工事

ほか



上町ポンプ場

3 浄化センター改築

4,036,040,580円

施設更新担当

経年化した浄化センター設備の改築工事ほかを行いました。

3 浄化センター（下町・追浜・西）

- ・ 下町浄化センター2・3系受変電設備更新工事
- ・ 下町浄化センター2・3系送風機設備更新工事
- ・ 追浜浄化センター自家発電設備更新工事

ほか



下町浄化センター

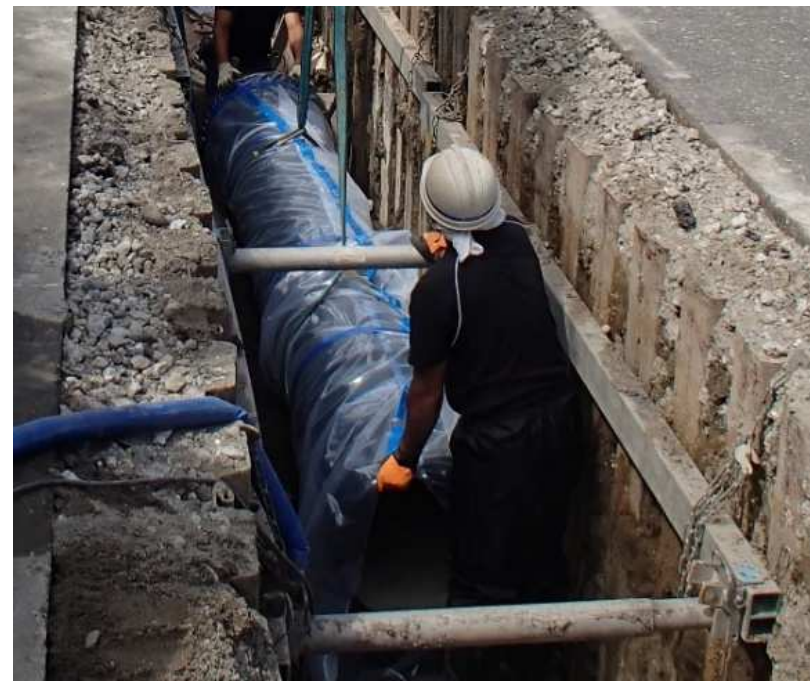
4 水道管耐震化

3, 716, 205, 609円

水道管路課
水道施設課

安定給水を図るため、経年化した配水管を耐震性能を備えた管に更新し、水道管の耐震化を推進しました。

- ・ 配水本管更新工事（口径 ϕ 300以上）
延長 0.6 k m
- ・ 配水管更新工事（口径 ϕ 300未満）
延長 11.4 k m



5 下水道耐震化

331, 203, 030円

下水道管渠課
施設更新担当

下水道管の耐震化工事、浄化センターの耐震補強設計業務委託を行いました。

- ・ 下水道管耐震化工事ほか 延長0.7 k m
- ・ 追浜浄化センター水処理棟耐震補強設計業務委託



耐震化更生工事 施工前



耐震化更生工事 施工後

6 浸水対策

60,278,800円

下水道管渠課

浸水の発生頻度などから優先順位を検討し、浸水対策を着実に進めました。

- ・ 上町1丁目地内ほか測量業務委託
- ・ 上町1丁目地内ほか土質調査業務委託
- ・ 平作地区ほか樋門更新検討及び実施設計業務委託

ほか



上町歩道橋付近浸水の様子

7 鉛給水管解消

465,079,282円

給排水課
水道管路課

鉛給水管の取替えを促進するため、配水管布設工事などに伴う鉛給水管の取替工事を行いました。また、お客さまが行う取替工事に対して、費用の一部を助成しました。

- ・ 鉛給水管取替 750件
- ・ 鉛給水管取替工事への補助金 133件
（補助率） 1 / 2
上限 200,000円
（撤去工事のみは100,000円）



鉛給水管の漏水状況

8 太陽光発電設備設置等

12,279,300円

計画課
浄水課

太陽光発電設備の設置及び更新を行いました。また、照明設備のLED化を行いました。

- ・有馬浄水場ろ過池太陽光発電設備更新
- ・長沢低区配水池太陽光発電設備設置
- ・有馬浄水場事務室ほか照明LED化修繕 ほか



有馬浄水場ろ過池太陽光発電設備更新



長沢低区配水池太陽光発電設備設置

9 管路維持管理業務委託

9,186,693円

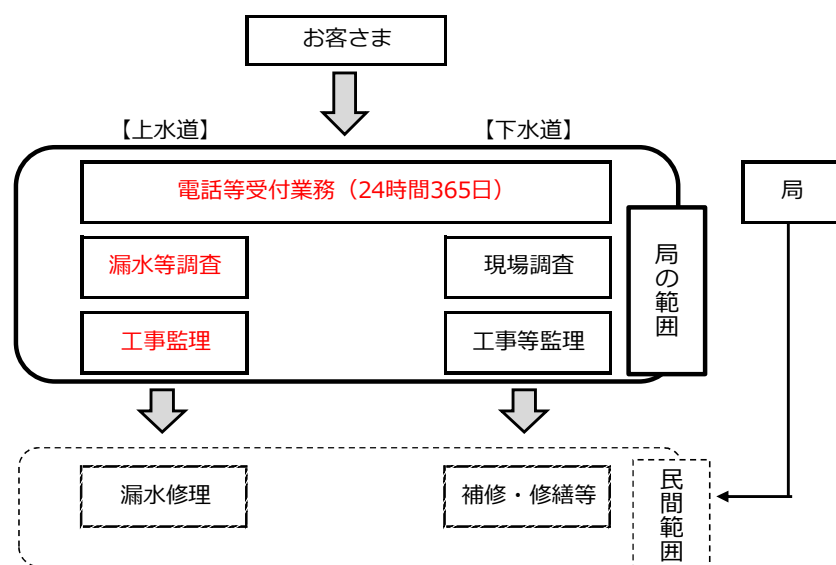
管路維持担当

下水道管渠課

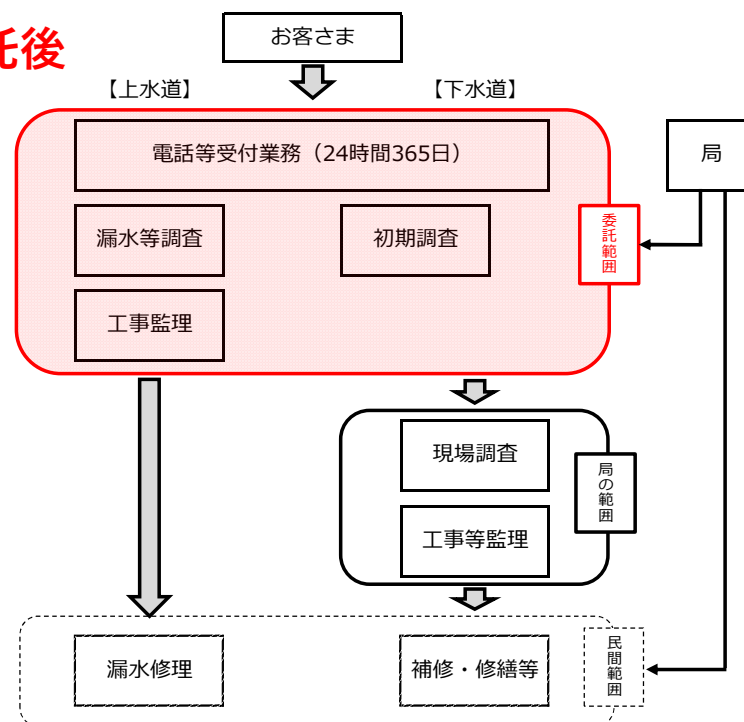
(水道5,883,057円 下水道3,303,636円)

市民サービスを低下させず持続可能な上下水道事業を構築するため、現在職員が実施している管路維持管理業務の一部を委託化し、民間企業の持つ人材、技術、ノウハウを活用します。

令和6年度から試行し、令和7年度から本格的に委託化を実施しました。



委託後



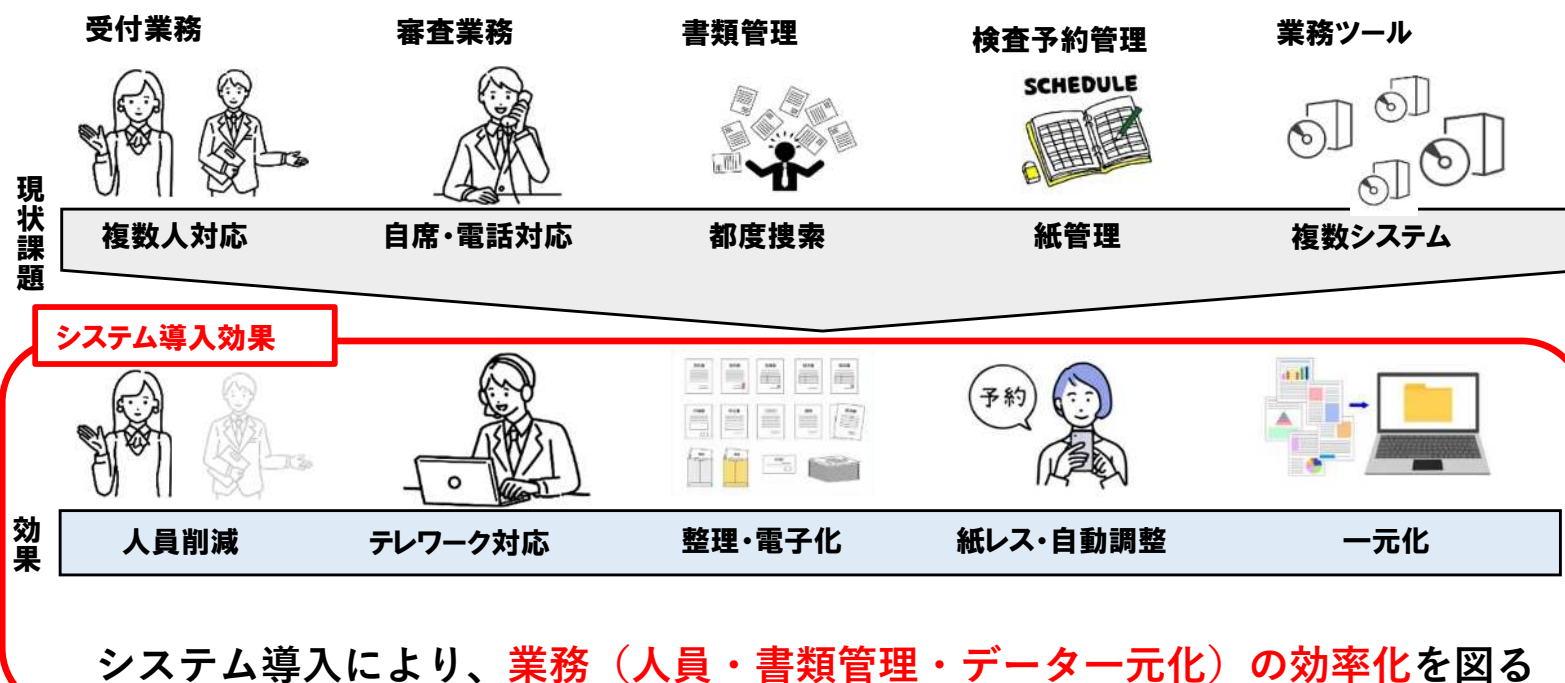
10 給排水設備工事

43,589,500円

給排水課

電子申請システム（水道21,794,750円 下水道21,794,750円）

来庁せずにオンラインで給排水設備の工事申請を行うことにより、事業者の利便性が向上します。また、ペーパーレスを実施し、DXを推進します。
令和6年度はシステムを整備し、令和7年度から本格的に稼働しました。



11 オフィス改革

3,726,030円

総務課

(水道1,863,015円 下水道1,863,015円)

業務の生産性向上を図るため、ペーパーレス化を前提とした什器の更新やレイアウト変更などオフィス環境を整備し、あわせて業務のやり方を見直す意識改革も行い、職員が快適に働ける職場へと改革しました。

令和6年度実施課 経営料金課

目的

職員の
意識改革へ

業務のやり方

- ・業務フローの見直し
- ・慣例に縛られない柔軟な発想

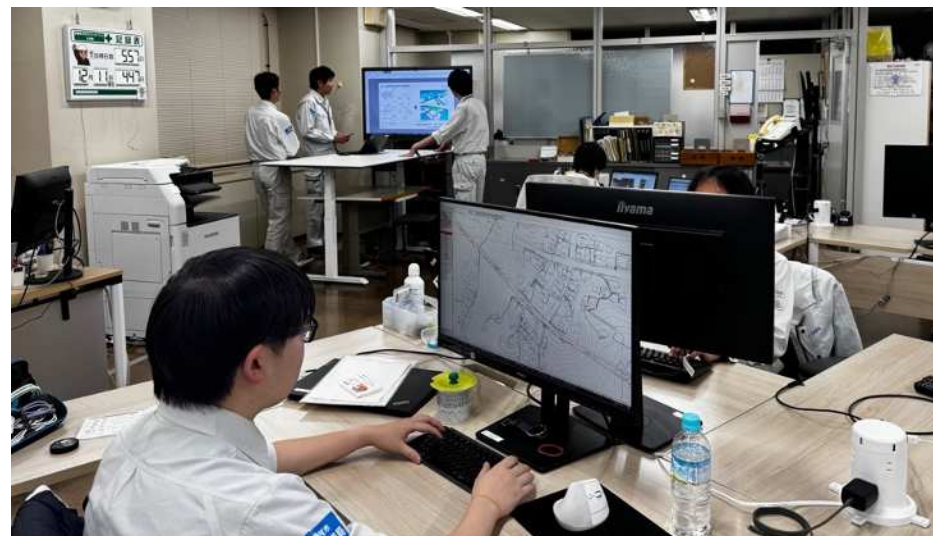
ペーパーレス

- ・フリーアドレスや在宅勤務
- ・書類の電子化による情報管理

快適な職場

- ・コミュニケーションの活性化
- ・働きやすい環境の創出

オフィス改革は意識改革のきっかけ！



12 浄水場の遠隔水質管理

40,700,000円

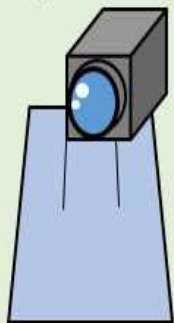
浄水課

IoT技術で市内から30km遠方にある有馬浄水場の水質管理業務を遠隔で行える環境をつくり、水質職員を逸見総合管理センターに集約し、効率化を図りました。

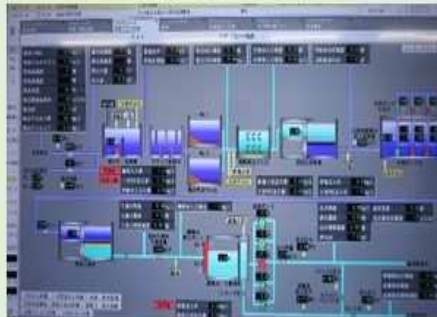
- ・有馬浄水場水質監視ITV設備設置工事
(国庫補助金収入 13,566,000円)

1 遠隔モニタリング

監視カメラ



水質データ



有馬浄水場から伝送

2 空間連結システム



有馬浄水場といつでも話せる

13 下水道ウォーターPPP

20,900,000円

計画課

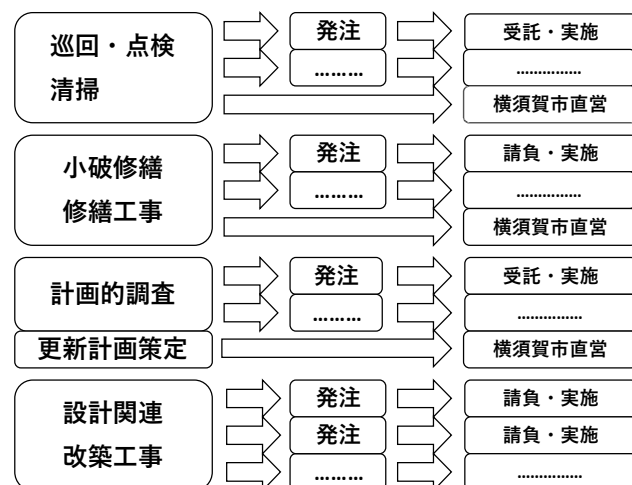
令和6年度は、下水道事業においてウォーターPPP（更新支援型）の導入可能性調査業務委託を実施しました。

令和7年度は、市内企業を含む民間事業者からの意見を踏まえ、より詳細な業務内容等を検討するアドバイザー業務を委託します。

ウォーターPPP（更新支援型）の導入イメージ

発注方法等の比較

現状：業務・工事ごとに発注（原則単年度）



ウォーターPPP【更新支援型】導入後：まとめて発注（複数業務を10年）

